

## みやぎ高度電子機械産業振興協議会 設立趣意書

本県を取り巻く産業経済を俯瞰すると、国際的な地域間競争の激化はもとより、地球環境や情報といった新しい価値の伸展、本格的な人口減少社会の到来等、非常に大きな転換期を迎えています。本県産業が国際競争に打ち勝ち、今後とも持続した発展を続けていくためには、こうした環境変化に機敏に適応した新たな産業構造の確立が必要です。

県では、持続可能な地域社会の形成を目指した「富県共創！活力とやすらぎのある邦づくり」を県政運営の理念に掲げ、「富県宮城の実現～県内総生産 10 兆円への挑戦～」を政策推進の基本方向に、産学官の連携による高度技術産業の集積促進に取り組んでいます。

また、県内には、製造品出荷額の約 3 割を担う電機・電子関係の産業集積があり、東北大学をはじめとする学術研究機関と産業界との幅広い連携の歴史があります。特に近年、大手自動車関連メーカーや半導体製造装置メーカー、電子部品デバイスメーカー等の立地が相次いで決定しており、県内産業界や産業支援機関、行政等においては、新たな取引機会の創出への強い意欲を持って、主体的な活動が力強く展開されつつあります。

電機・電子分野の応用範囲は非常に広く、半導体製造装置産業や医療機器産業、ロボット産業、太陽光発電産業、宇宙航空機産業等の、いわゆる「高度電子機械産業」では、今後も特に高い成長性が見込まれることから、高度技術を内包した電機・電子分野並びに関連する一般機械・精密機械分野等に期待される役割はますます高まっているところです。

こうした状況を踏まえ、本県産業が将来にわたって持続的な発展を遂げていくためには、今こそ、産業界、学術研究機関、金融機関、産業支援機関、行政等が一体となり、戦略的に高度技術産業の推進を図る好機であると強く認識し、ここに「みやぎ高度電子機械産業振興協議会」の設立を御提案申し上げる次第です。

本協議会では、県内企業の技術高度化及び経営の革新を図り、高度電子機械市場における取引の創出・拡大を目指します。また、県が進める人材確保・育成施策や技術研究開発施策、企業誘致施策との相乗的な事業展開により、高度電子機械産業の集積を目指します。

関係各位には、本協議会の設立趣旨に御理解を賜り、是非、御入会の上、共に活動されますことをお願い申し上げます。

平成 20 年 9 月 19 日

設立発起人

宮城県知事 村井 嘉浩

財団法人みやぎ産業振興機構理事長 四ツ柳 隆夫

社団法人みやぎ工業会会長 川田 正興